

# 絵画や映像「宴」テーマに

## 文化芸大生卒業・修了展

静岡文化芸術大のデザイン学部卒業展・デザイン研究科修了展が、浜松市中央区中央の同大で開かれている。絵画や映像、シオラマなど学生約100人が趣向を凝らして制作した、見応えある作品を22日まで展示している。入場無料。

江戸時代に流行した



①遠州地方の歴史を表現した本や紙細工が並ぶ会場  
②苦しみの言葉を吹き出しに入れた展示＝いずれも浜松市中央区中央の静岡文化芸術大で

し絵などの戯画「遊び絵」をもとに、遠州地方の1万年の変遷などを表現した作品のほか、漫画やせりふの吹き出しで人間の苦悩や感情の起伏を表現した作品など、学生ならではの自由な発想を形にした作品が目を引く。

展示のテーマは「宴」。学びの成果をたたえ、来場者と共に卒業後の活躍に向けて英気を養う場にしたというの願いが込められている。実行委員長の学部4年、小崎凧紗さん(22)は「見るだけでなく、展示に触れるなど芸術に参加してもらえる展示が多い。努力の成果を見に来てほしい」と来場を呼びかける。

午前10時～午後7時。最終日は午後3時まで。

(服部剛士)

